

## 作品解説

◆ヨハネス・ブラームス(1833-1897)：ピアノ五重奏曲 ヘ短調，作品 34 (1864)  
1860年に弦楽六重奏曲第1番を書いたブラームスは弦楽四重奏へのステップとして、今度は2つのヴァイオリン、ヴィオラ、2つのチェロによる弦楽五重奏を作曲していました。しかし試演した親友ヨアヒムからは辛口の反応。今度は2台ピアノに編曲するも信頼するクララ・シューマンから厳しい意見を突きつけられます。結局、双方のアイデアを組み合わせる本作は、ピアノ五重奏曲に編み直されました。第1楽章は、まるで交響曲のような重厚長大な音楽で、性格の異なる旋律が組み合わせながらドラマを作り上げていきます。緩徐楽章となる第2楽章では三部形式を基調にしつつも、伏線を張ることで後半の盛り上がり巧みに演出。スケルツォの第3楽章はコントラストを際立たせた明晰な音楽です。音量、長調短調、音色……様々な要素で対比を作り、シャープな音楽を形成しています。不安定な序奏ではじまる第4楽章では、これまた様々な性格の旋律が入り乱れながら音楽を進めていきますが、ラストで大幅にテンポが上がり、息もつけない展開をみせます。

(小室 敬幸)

## ◇次回公演のお知らせ◇Music Dialogue デイスカバリーシリーズ 2021-22 Vol.4

・本公演：2022年3月4日(金) 19:00 開演 本公演

【会場】 めぐるパーシモンホール 小ホール (都立大学駅より徒歩7分)

<https://bit.ly/3Ijp74K>



・字幕解説付き公開リハーサル：2022年3月1日(火) 19:00 開始

【会場】 中目黒 GT プラザホール (中目黒駅南口よりすぐ)

<https://bit.ly/30r5DAE>



【曲目】 クララ・シューマン ピアノ三重奏曲 作品 17  
ブラームス ピアノ四重奏曲 八短調 作品 60  
【出演】 酒井有彩 (ピアノ)、小栗まち絵 (ヴァイオリン)、  
大山平一郎 (ヴィオラ)、辻本玲 (チェロ)

※チケット販売開始は、明日(12月15日)午前10時からとなっております。  
本公演と公開リハーサルでそれぞれ販売サイトが異なります。  
上記 QR コードや Music Dialogue ホームページよりご確認お願い致します。



## Music Dialogue デイスカバリー・シリーズ 2021-2022 Vol.3

公開リハーサル @中目黒 GT プラザ

2021年12月14日(火) 18:30 開始

- ◆曲目 ヨハネス・ブラームス(1833-1897)：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品 34
- ◆出演 平間今日志郎 (Pf.)、福田麻子 (Vn.)、大塚百合菜 (Vn.)、  
大山平一郎 (Vla.)、加藤文枝 (Vc.)
- ◆解説 金子鈴太郎 (チェリスト)、小室敬幸 (作曲・音楽ライター)

## ◆お客様とのダイアログ

※演奏者に聞いてみたいことなどありましたら、以下の方法が QR コードから、ぜひ質問や感想を送信してください。(リハーサル中から送信いただけます)

※インターネットにて「sli.do」と検索→イベントコード「015558」をご入力ください。



【主催】 一般社団法人 Music Dialogue  
【協力】 日本音楽財団 (日本財団助成事業)  
ARTS for the Future! 補助事業



## 演奏者プロフィール



### 平間 今日志郎 Kyosiro Hirama [ピアノ]

1998 年生まれ、大阪府出身。仙台国際音楽コンクール第 5 位、全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部第 2 位及び横浜市民賞、PTNA ピアノコンペティション全国決勝大会 F 級金賞、Jr.G 級金賞、松方ホール奨励賞など多くのコンクールで入賞。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2020/2021 参加アーティスト。2017～2019 年度ヤマハ音楽振興会音楽奨学支援奨学生。パーク大学（米・ミズーリ州）卒業。奨学生として同大学院在学中。スタニスラフ・ユデニッチ、クラウディオ・ソレス、上野真の各氏に師事。



### 大塚 百合菜 Yurina Otsuka [ヴァイオリン]

桐朋学園女子高等学校を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。その後渡独し、リューベック音楽大学大学院修了、演奏家課程を経てドイツ国家演奏家資格取得。これまでに佐藤明美、辰巳明子、トマス・ブランディス、ダニエル・ゼベックの各氏に師事。第 59 全日本学生音楽コンクール第 1 位。第 6 回シユボア国際コンクール(ドイツ)特別賞。東京フィルハーモニーオーケストラ、リューベックフィルハーモニーオーケストラ等と共演。CHANEL PYGMLION DAYS 参加アーティスト。2019 年度紀尾井ホール管弦楽団シーズンメンバー。



### 福田 麻子 Asako Fukuda [ヴァイオリン]

第 19 回東京音楽コンクール弦楽器部門第 1 位、第 87 回日本音楽コンクール第 3 位。CHANEL Pigmarion Days2022 参加アーティスト。明治安田生命 QOL 文化財団、青山音楽財団、宗次エンジェル基金日本演奏連盟、守谷育英会奨学生。紀尾井ホール室内管弦楽団シーズンメンバー、サントリーホール室内楽アカデミー第 6 期生。東京音楽大学、同大学院修士課程を首席で卒業。現在同大学院博士後期課程 1 年に特別特待奨学生として在学中。これまでに、小栗まぢ絵、大谷康子、原田幸一郎、藤原浜雄、玉井菜採の各氏に師事。



### 大山 平一郎 Heiichiro Ohyama [ヴィオラ]

英国のギルドホール音楽学校を卒業。1972 年マールボロ音楽祭にヴィオリストとして参加後数多くの国際音楽祭に招待され、またギドン・クレーメル、ラドゥ・ルプー、ミシヤ・マイルスキーなど著名な音楽家とも共演する。1973 年カリフォルニア大学助教授に就任。1979 年にジュリーニ率いるロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴィオラ奏者に任命され、1987 年にプレヴィンから同楽団の副指揮者に任命される。その後サンタフェ室内楽音楽祭芸術監督、九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の音楽顧問・首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞（芸術祭優秀賞）を受賞。現在、The Lobero Theatre Chamber Music Project（米国サンタ・バーバラ）音楽監督、CHANEL Pygmalion Days 室内楽シリーズのアーティストック・ディレクター、Music Dialogue 芸術監督。



### 加藤 文枝 Fumie Kato [チェロ]

京都市出身。2006 年バリエコール・ノルマル音楽院に給付生として留学。2010 年東京芸術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。学内にて、安宅賞、アカンサス賞、三菱地所賞受賞。2010・2011 年サントリーホール室内楽アカデミー第 1 期生。2014 年東京芸術大学大学院修士課程修了、アカンサス音楽賞受賞。パリ市立音楽院を満場一致の首席で卒業。第 8 回ピパホールチェロコンクール第 1 位。第 7・8 回東京音楽コンクール弦楽部門第 2 位。F L A M E 国際コンクール第 3 位。平成 23 年度京都市芸術文化特別奨励者。これまでに、故 杉山寛、ドナルド・リッチャー、アラン・ムニエ、河野文昭、ラファエル・ピドウの各氏に師事。また、室内楽を岡山潔、松原勝也、P.ルコール、E.ルサージュ、P.メイエの各氏に師事。財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。Music Dialogue アーティスト。

Music Dialogue へのご支援を通して、ぜひ次の世代を担う演奏家たちの成長を応援していただければ幸いです！  
シンカブル（以下の QR コード）にて、単発や毎月の継続的なご寄付を受け付けております。

